

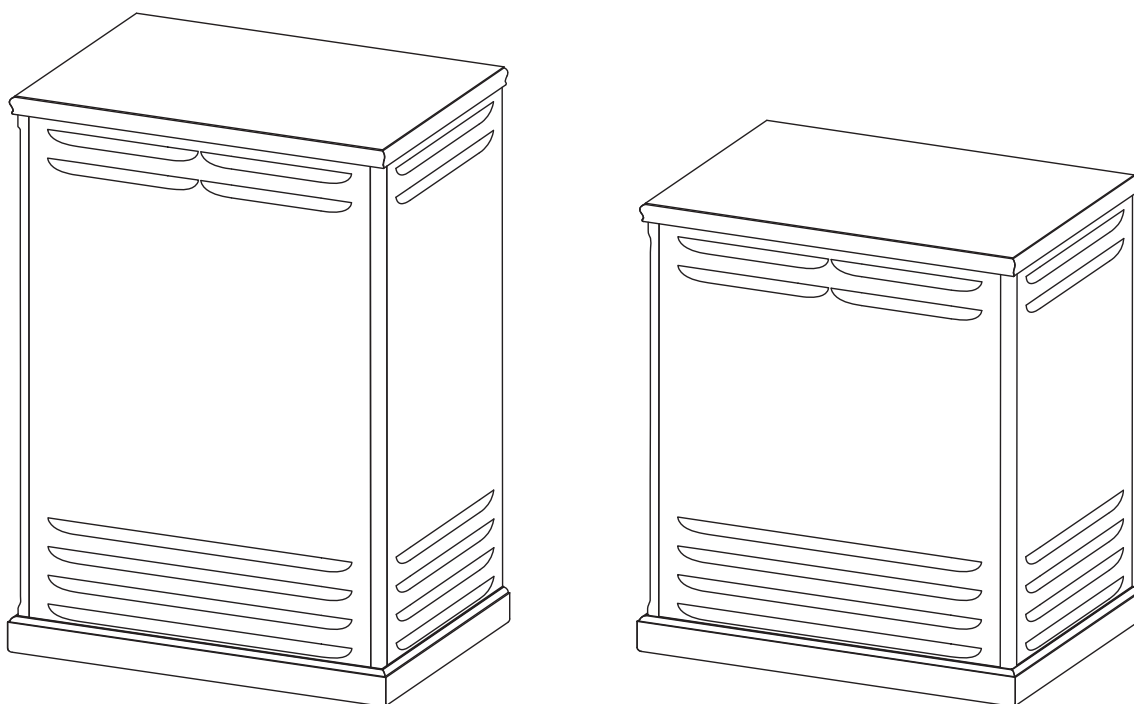


Innovative Sound Systems

この度はレスリー 122H/142H をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をお読みください。

お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。



Leslie Heritage Series

Model 122H/142H

取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後は、必ず保存してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。
- 本書では、危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

	警告	この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。
	注意	この表示内容が無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。



警告



電源は必ず交流 100V でご使用ください

交流 100V 以外の電圧でご使用になると、火災や感電の恐れがあります。



異常を感じたら電源を切ってください

万一異臭や発熱などの異常を感じたときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店や各営業所にご連絡ください。

異常状態でのご使用は火災・感電の原因となります。



異物が入ったときは、電源プラグを抜いてください

製品に異物（硬貨や針金）や液体（水やジュースなど）を入れないようにしてください。

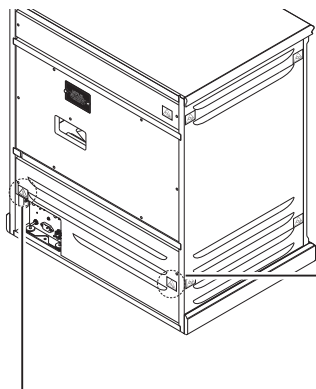
故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

万一、異物が内部に入ったときは直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡ください。



開口部分に指を入れないでください

機器の隙間や開口部分に腕や指を入れないでください。内部の回転体でケガをしたり、高温になる部分に触れてやけどをする恐れがあります。



改造・分解は危険です

改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



濡れた手で触れないでください

濡れた手で電源プラグ・コード及び本体に触れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



湿気の多い場所は避けてください

水分や湿気の多い場所では絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



ほこりの多い場所は避けてください

ほこりの多い場所での使用は避けてください。故障や発火の原因になることがあります。

また電源プラグにほこりが付いている場合、そのまま使用すると感電などの原因となりますので、ほこりを拭き取ってからご使用ください。



● 次のような場合はただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または各営業所にご連絡ください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物や液体が中に入ったとき
- 機器が雨その他で濡れたとき
- 機器に異常が発生したとき



このマークは、機器の内部に回転体が存在し、指が巻き込まれる危険があることを警告しています。



このマークは、機器の内部に高温になる部分があることを表しています。



注意



熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用、保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。



放熱を妨げないでください

設置時は放熱をよくするために、背面と壁や他の機器との間に 20cm 以上の隙間をあけてください。放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



衝撃を与えないでください

製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷を付けるだけでなく故障の原因になります。



製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください

製品が破損する原因にもなりますし、製品が転倒したりしてお客様がケガをする危険性があります。



不安定な場所に置かないでください

製品を不安定な場所に置かないでください。転倒・落下して、お客様がケガをする危険性があります。



移動の際には接続ケーブルをすべて外してください

移動させるときは電源プラグ、接続ケーブルはすべて外してください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



使わないときは電源プラグを抜いてください

ご使用の後は電源スイッチを切ってください。長時間使用しないときや落雷の恐れがある場合は、製品保護のためコンセントから電源プラグを抜いてください。



コードは引っ張らないでください

電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。

また電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードではなく、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが傷つき、感電などの原因になり大変危険です。



お手入れは柔らかい布で

お手入れは柔らかい布でから拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。



接続時は電源を切って

各機器との接続時は、接続するすべて機器の電源を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。

電源を入れる前に音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害を引き起こす恐れがあります。



歪ませないで

スピーカーユニットに過大な入力に加え、音が歪んだ状態では使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



大音量に注意

不快に感じるような大音量では、使用しないでください。この機器は大音量での使用により、聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

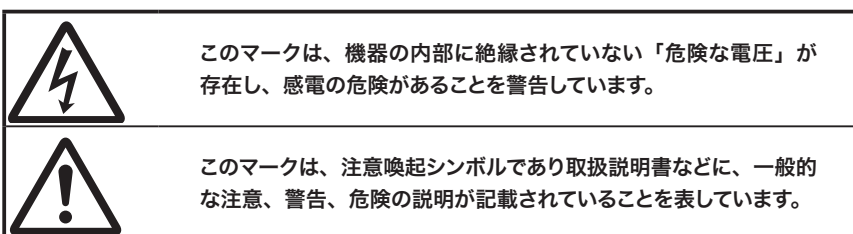


アースは確実に取り付けて

電源のアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります (p.9)。



注意：感電の恐れありキャビネットをあけるな
ATTENTION: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR
WARNING:
 TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK,
 DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.



安全上のご注意.....	16
目次.....	18
本機の特長.....	18
仕様	19
ブロックダイアグラム.....	19
各部の名称とはたらき	20
電源の準備.....	23
接続例と初期設定.....	24
● 11 ピンレスリー端子付きオルガン	24
● ライン出力ジャックを持つ楽器	24
● 5 ピン / 6 ピンのレスリー出力端子を備えたオルガン	25
Column: 122/147 タイプのレスリー 6 ピン入力端子の違い	25
電源を入れる.....	26
Column: 122 タイプと 147 タイプのサウンドの違い	26
● 11-PIN POWER REMOTE 機能（レスリー 11-PIN 端子を持つオルガン限定）.....	27
アフターサービスについて.....	28

本機の特長

- ・ 本機はオリジナルのレスリー 122/142 の復刻モデルです。スピーカーやアンプはもちろん、キャビネットやローターの材質 / 形状など、サウンドに関与するあらゆる要素を復刻しています。
- ・ 122 タイプと 147 タイプの回路を搭載。一つのキャビネットで二通りのアンプサウンドを得られます。
- ・ 真空管プリアンプとパワーアンプにより、オリジナルのスピーカーキャビネットと同じクラシックな温かみのあるサウンドを楽しめます。
- ・ 入力端子として 11PIN INPUT 端子と LINE INPUT ジャックを装備。さらに B-3, C-3, A-100, D-100 などのように、5 ピン / 6 ピンのレスリー端子を持つオルガンを接続するための 6-PIN DIN INPUT ジャックを装備。
- ・ ブラシレス DC サーボモーターを採用。電源周波数や電圧変動の影響を受けず、さらにローターの回転立ち上がり、立ち下がり、回転数を自由に調節できます。

形式

1-channel (Rotary Channel Only)
Mechanical Rotors

パワーアンプ出力

40 Wrms

スピーカー

Horn

High-compression Driver

Low

15" (38cm) Woofer

真空管

Preamp

12AU7 x 1

Power amp

12AU7 x 1, 6550 x 2

コントロール

Volume:

Master Volume

Switch:

POWER Switch, FOOT SW TYPE, 11-PIN POWER REMOTE,
6-PIN DIN CONTROL TYPE

モーター

Brushless DC Servo Motor x 2

ローター

Horn Rotor, Wooden Low Rotor

ローターアジャスト

Horn

RISE TIME, FALL TIME, SLOW SPEED, FAST SPEED

Low

RISE TIME, FALL TIME, SLOW SPEED, FAST SPEED

LED

SLOW, STOP, FAST

接続端子

11-PIN INPUT,
6-PIN DIN INPUT,
Line INPUT ¼," imped. 10k Ω sensitivity 100mV (-18dBu),
FOOT SW (SLOW/STOP/FAST)
AC Inlet

定格消費電力

160 W

寸法

122H

W 74.2 X D 52.4 X H 104.3 cm

W 29.2 X D 20.6 X H 41 inches

142H

W 74.2 X D 52.4 X H 84.6 cm

W 29.2 X D 20.6 X H 33 inches

重量

122H

57.7 kg / 127.2 lbs

142H

54 kg / 119.1 lbs

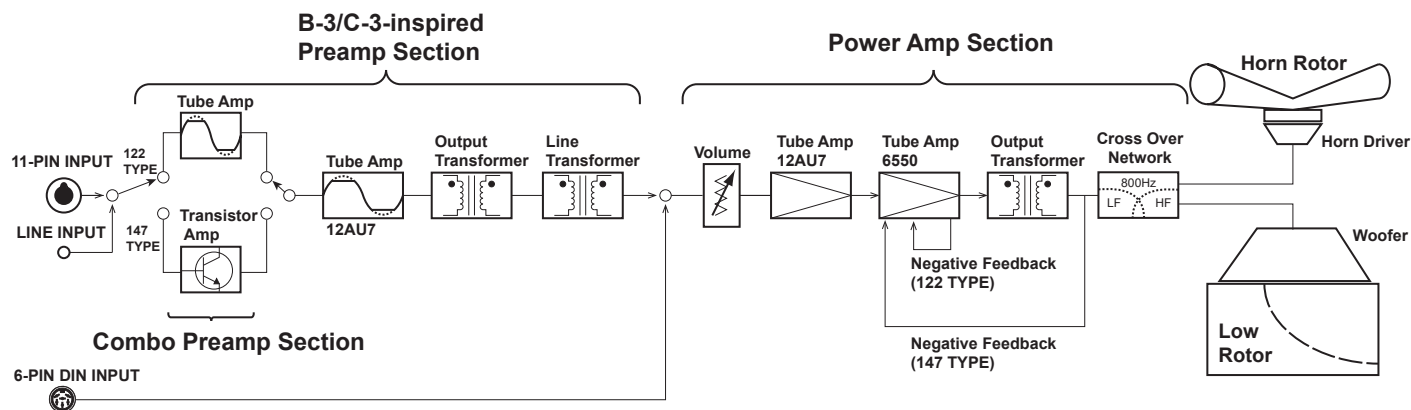
別売品

11-pin Leslie Cable LC11-7M

6-pin to 6-pin DIN Adapter Cable LCA-66

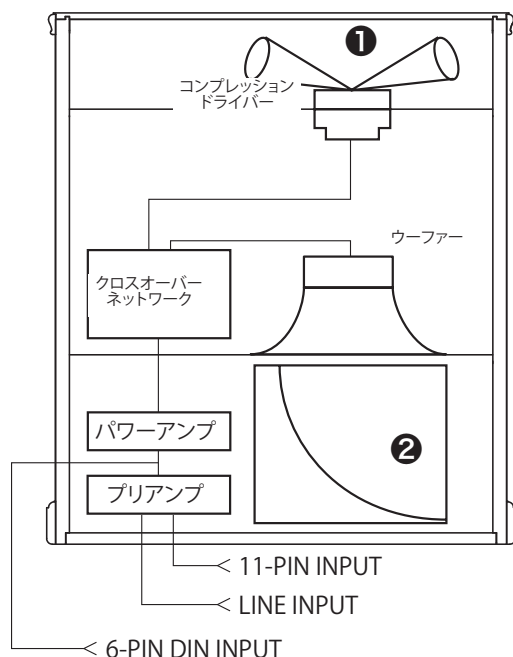
Foot switch FS-10TL/FS-9H

ブロックダイアグラム



各部の名称とはたらき

内部構造



① ホーン・ローター

高音(800Hz以上)を再生するローターです。

② ロー・ローター

低音(800Hz以下)を再生するローターです。

③ POWER スイッチ

本機の電源をオン/オフするトグルスイッチです。

左右に倒す事で電源がオンになります。右側に倒すとアンプキャラクターは122タイプに、左側に倒すと147タイプになります。

④ パワー・インジケーター

本機の電源の状態を表します。

明るい点灯: 電源がONの状態

暗めの点灯: 11-PIN POWER REMOTE
スタンバイモード(p.13)

消灯: 電源がOFFの状態

⑤ AC インレット

付属の電源コードを接続します。

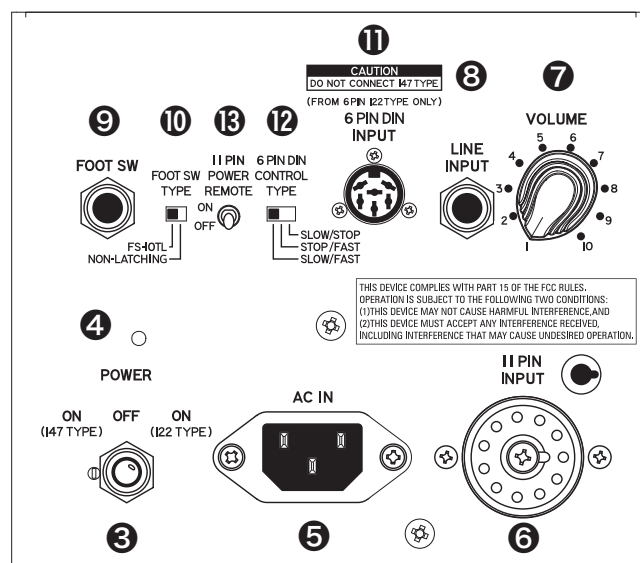
⑥ 11-PIN INPUT 端子

レスリー11ピン端子を備えたオルガンを接続するための入力端子です。

⑦ VOLUME ツマミ

本機全体の音量を調節します。

メインコントロールパネル



⑧ LINE INPUT ジャック

ライン インプット

ラインレベルの出力ジャックを持つ楽器を、モノラル標準フォンケーブルを使って接続するための音声入力ジャックです。

⑨ FOOT SW ジャック

フット スイッチ

フットスイッチを接続します。

本機のローターの回転モードをフットスイッチFS-9HまたはFS-10TL(別売)を使って切り替える場合に使用します。FS-9Hの使用時は、スイッチを短く踏むとスローとファーストが切り替わり、長く(1.5秒以上)踏むとストップに切り替わります。

NOTE: このジャックはLINE INPUTジャックに楽器を接続するときのみ使用してください。本機に11-PIN INPUT端子や6-PIN DIN INPUTジャックを介して楽器を接続する場合は、このジャックにフットスイッチを接続しないでください。

以下のフットスイッチ(別売)を接続できます。

- ・FS-10TL: Leslieの専用フットスイッチです。
- ・FS-9H: アンラッチ、ノーマルオープン・タイプのフットスイッチです。
- ・その他、FS-9Hの同等品
(アンラッチ、ノーマルオープン・タイプ)

⑩ FOOT SW TYPE セレクター

フット スイッチ タイプ

使用するフットスイッチを選択するスイッチです。

FS-10TL: Leslie FS-10TLを使用します。

NON-LATCHING: Hammond FS-9Hや同等品(アンラッチ、ノーマルオープン・タイプ)を使用します。

⑪ ピン ディン インプット 6-PIN DIN INPUT ジャック

5ピンまたは6ピンのレスリー端子を持つオルガンを使用するための入力ジャックです。接続には6ピン-6ピンDIN変換ケーブルLCA-66(別売)を使用します。

⚠注意

本機は122タイプの出力にのみ対応しています。本機が故障しますので、他のタイプの出力(147,251タイプ等)は絶対に接続しないでください。

お持ちのオルガンの出力タイプが不明な場合はオルガンの販売元にお問い合わせください。

⚠注意

この入力ジャックからは91Vの電圧が出ています。

LCA-66(別売)以外のオーディオ機器をこのジャックに接続しないでください。本機やオーディオ機器の故障の原因となります。

⑫ ピン ディン コントロール タイプ 6-PIN DIN CONTROL TYPE セレクター

5ピンまたは6ピンのレスリー端子を持つオルガンのレスリースイッチ機能を設定するスイッチです。

NOTE: 「コラール CHORALE」はスロースピード、「トレモロ TREMOLO」はファストスピードのことです。



ポジション	CHORALE	TREMOLO
SLOW/STOP	SLOW	STOP
STOP/FAST	STOP	FAST
SLOW/FAST	SLOW	FAST

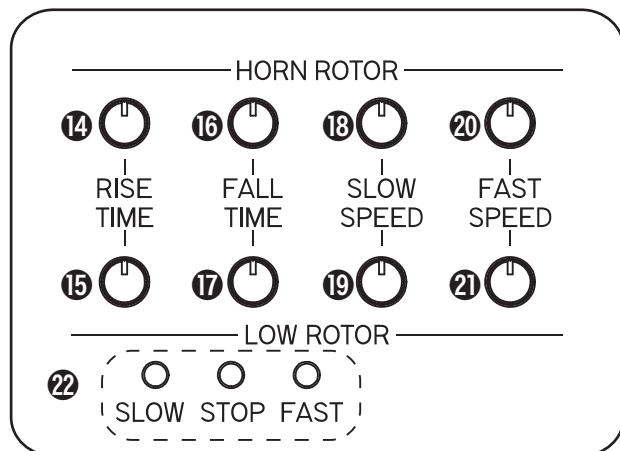
表1: 6-PIN DIN CONTROL TYPEセレクターで選択される機能

⑬ ピン パワー リモート 11-PIN POWER REMOTE スイッチ

11-PIN INPUT端子に接続したオルガンの電源スイッチによって本機の電源オンを可能にするスイッチです。
(p.13)

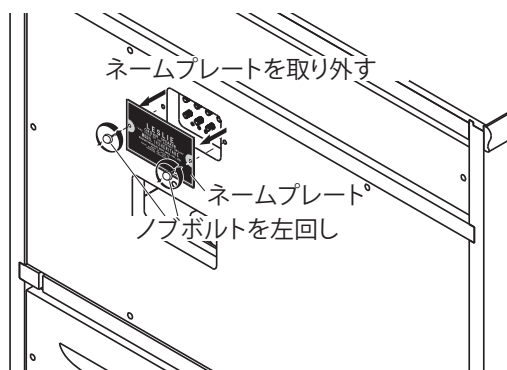
NOTE: 11ピンINPUT端子を使わないときは、このスイッチをOFFに設定してください。このスイッチがONになっていると、本機の電源をONにできません。

ローターコントロールパネル



ローターコントロールパネルは本機の背面に搭載されています。これらのつまみを使うことで、各ローターのSLOW、FASTのスピードや、STOP/SLOWからFASTへ、またはFASTからSLOW/STOPへ変化する時間をカスタマイズできます。

ローターコントロールは金属のネームプレートで隠されていますが、下図のようにプレートを取り外してアクセスできます。

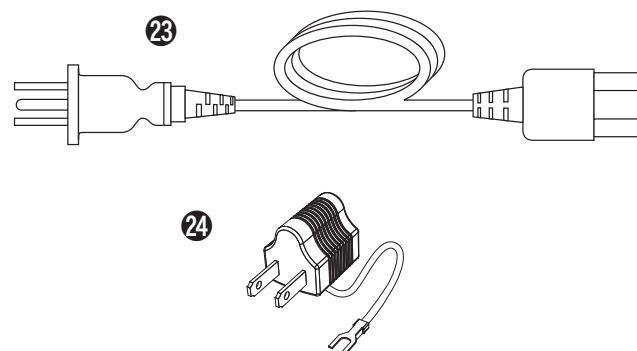


NOTE: ネームプレートには本機のモデル情報が記載されています。取り外したネームプレートとノブボルトは、なくさないように大切に保管してください。

14 / 15 RISE TIME ツマミ - HORN & LOW ローター

ローターの回転がSLOWまたはSTOPからFASTに上がりきる

付属品



までにかかる時間を調節します。時計回りに回すとかかる時間が長くなります。

16 / 17 FALL TIME ツマミ - HORN & LOW ローター

ローターの回転がFASTからSLOWまたはSTOPに下がりきるまでにかかる時間を調節します。時計回りに回すとかかる時間が長くなります。

18 / 19 SLOW SPEED ツマミ - HORN & LOW ローター

SLOWモードで回転している時のローターのスピードを調節します。

20 / 21 FAST SPEED ツマミ - HORN & LOW ローター

FASTモードで回転している時のローターのスピードを調節します。

NOTE: 初期設定の値は以下のとおりです。工場出荷時、各つまみは中央に設定されています。

	RISE TIME	FALL TIME	SLOW SPEED	FAST SPEED
HORN ROTOR	1.8[s]	2.4[s]	44[rpm]	402[rpm]
LOW ROTOR	7[s]	5.5[s]	42[rpm]	372[rpm]

22 ローター・モード・インジケータ

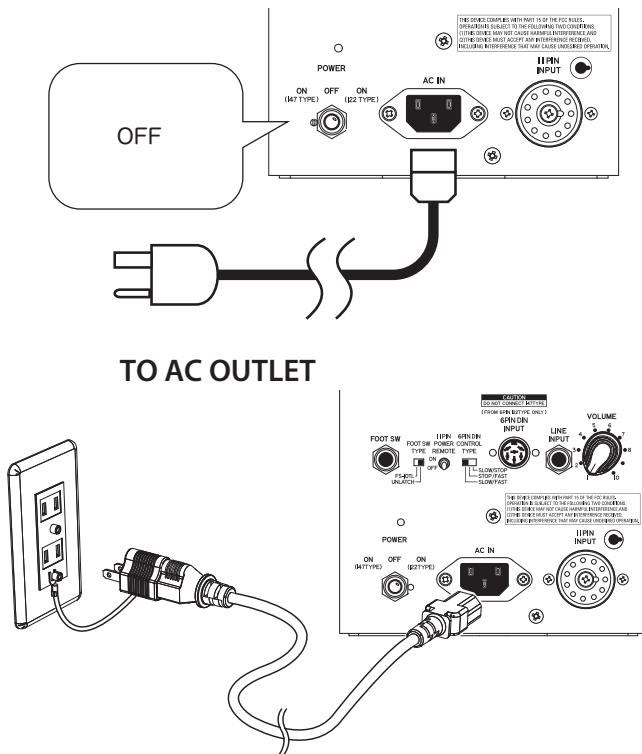
現在のローターの回転状態を表示するLEDです。

NOTE: 本機の電源投入後の数秒間は、ロー・ローターのスピードに合わせてすべてのLEDが点滅します。

23 AC コードセット

本機に電源を供給します。

24 2P-3P 変換器



Steps:

- ① 本機の[POWER]スイッチがOFFになっていることを確認します。
- ② 付属のACコードを用意します。
- ③ ACコードのコネクタを本機のACインレットに接続します。
- ④ ACコードのプラグを電源コンセント(AC 100V)に接続します。

⚠ 注意

本機を直射日光や炎の当たる場所、高温になる場所に設置しないでください。

⚠ 注意

ACコードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属のACコードを他の製品に使用しないでください。

⚡ 注意

この製品は、アース線の使用を前提として設計されています。感電と機器の損傷を防ぐため、ACコードにはアース端子が付いています。ACコンセントにプラグを差し込むときには、アース端子を接続してください。

接続方法が分からない場合は、最寄りの鈴木楽器販売へご相談ください。

[POWER]スイッチがOFFの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ずACコードを電源コンセントから抜いてください。

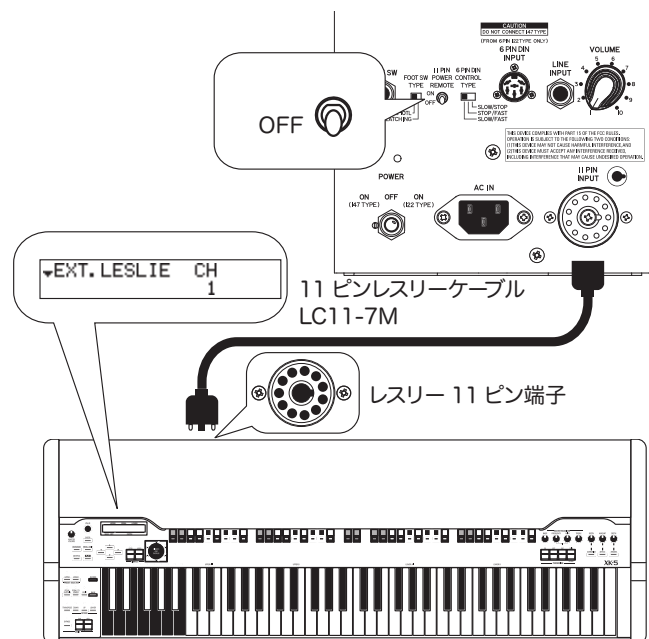
接続例と初期設定

以下の接続例の手順に従って、外部機器の接続やスイッチの操作を行ってください。

NOTE: 接続は、必ず本機および接続する楽器の電源を切った状態で行ってください。

NOTE: ローターを正しく回転させたり、機器への損傷を防ぐために、下記の各接続例に記載のないケーブルや機器は接続しないでください。

● 11 ピンレスリー端子付きオルガン



ハモンド該当機種:

1チャンネル仕様のモデル

・B-3/C-3 mk2, New B-3/C-3, など

チャンネル切替が可能なモデル

・SK PRO, SKX PRO, SKX, XK-5/-3/-3C, A-162, A-405 SP, XB-3/-3Mなど

NOTE: 3チャンネル固定のモデル(XE-1, XT-100など)はご使用頂けません。

Steps:

① 左図のように本機とオルガンを接続します。

使用するケーブル

・11PINレスリーケーブルLC11-7M(別売)

NOTE: 11PINレスリー Yケーブル LC11Y-7M(別売)を使って、オルガンを本機2台に接続することもできます。

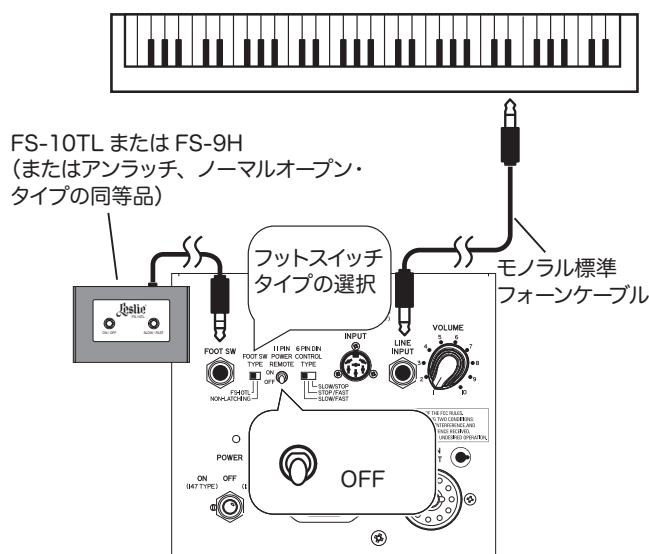
NOTE: この接続を行う際、左図に記載されていないケーブルや機器は接続しないでください。これはローターモードを正しく切り替えることと、機器への損傷を防ぐためです。

② [11-PIN POWER REMOTE]スイッチをOFFにします。

③チャンネル切替が可能なモデルは、オルガンのレスリーチャンネルを「1」に設定します。

NOTE: レスリーチャンネルの設定方法は、各オルガンの取扱説明書を参照してください。

●ライン出力ジャックを持つ楽器



Steps:

① 左図のように本機と楽器を接続します。

使用するケーブル

・モノラル標準フォンケーブル(別売)

② [11-PIN POWER REMOTE]スイッチをOFFにします。

③ フットスイッチFS-10TL(別売)、またはFS-9H(別売)を本機の[FOOT SW]ジャックに接続します。

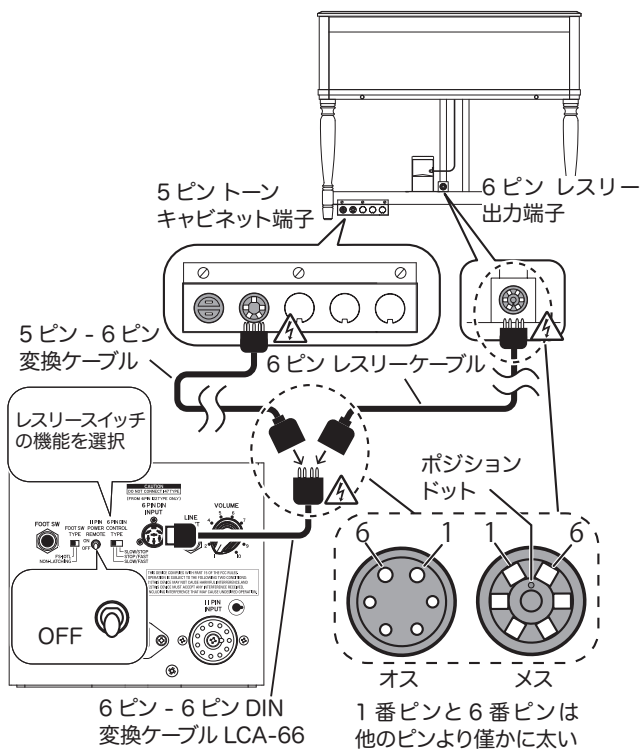
NOTE: この接続を行う際、左図に記載されていないケーブルや機器は接続しないでください。これはローターモードを正しく切り替えることと、機器への損傷を防ぐためです。

④ [FOOT SW TYPE]セクターを操作し、接続したフットスイッチを選択します。FS-10TLを使用する場合は左[FS-10TL]に、FS-9H(またはアンラッチ、ノーマルオープン・タイプの同等品)を使用する場合は右[NON-LATCHING]にスライドします。

NOTE: ローターシミュレーターを内蔵した楽器を接続する場合は、楽器のシミュレーター機能をOFF にしてください。

● 5 ピン / 6 ピンのレスリー出力端子を備えたオルガン

NOTE: ピンテージのオルガンを本機と接続するには、オルガンにレスリーコネクターキットが搭載されている必要があります。



⚠️⚠️ 警告 : 感電のおそれあり!

下記の接続をする前に、必ず本機とオルガン両方の電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブル類のピン部分に触れると、本機やオルガンから出た電圧により感電するおそれがあります。

Steps:

- ① 左図のように本機とオルガンを接続します。

使用するケーブル

- ・6ピン-6ピンDIN変換ケーブルLCA-66(別売)
- ・5ピン-6ピンレスリーケーブル、または6ピンレスリーケーブル

NOTE: この接続を行う際、左図に記載されていないケーブルや機器は接続しないでください。これはローターモードを正しく切り替えることと、機器への損傷を防ぐためです。

⚠️ 注意

本機は122タイプの出力にのみ対応しています。本機が故障しますので、他のタイプの出力(147、251タイプ等)は絶対に接続しないでください。

お持ちのオルガンがどの出力タイプのレスリーコネクターキットを搭載しているか不明な場合は、オルガンの販売元にお問い合わせください。

⚠️ 注意

接続する際は、コネクターの向きに注意してください(左図を参照)。

- ② [11-PIN POWER REMOTE]スイッチをOFFにします。

NOTE: 6-PIN DIN INPUTジャックは、リモート・パワー・コントロール機能(p.13)には対応していません。

- ③ [6-PIN DIN CONTROL TYPE]セクターを操作し、レスリースイッチの機能を選択します。(p.7)

⚠️ 注意

6-PIN DIN INPUTジャックからは91Vの電圧が出ています。LCA-66以外のオーディオ機器をこのジャックに接続しないでください。本機やオーディオ機器の故障の原因となります。

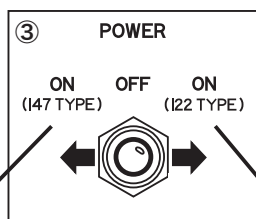
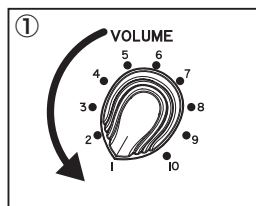
Column:122/147 タイプのレスリー 6 ピン入力端子の違い

ピン番号	Leslie 122	Leslie 147
1st	signal input (balanced)	signal GND
2nd	AC signal/DC GND	speed control AC voltage
3rd	AC power input	AC power input
4th	AC power input	AC power input
5th	DC 265V output (B+)	speed control AC voltage
6th	signal input (balanced)	signal input (unbalanced)

表2: レスリー6ピン入力端子の機能

レスリー122と147にはどちらにも同じ形状の6ピンの入力端子がついていますが、各ピンの電気的な構成は大きく異なります(左の表を参照)。

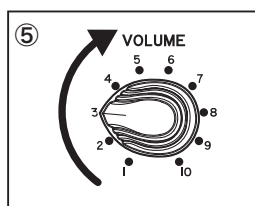
電源を入れる



147 タイプのパワーアンプ回路
+ トランジスタ (ソリッドステート)
のコンボ・プリアンプ回路

122 タイプのパワーアンプ回路
+ B-3/C-3 の内蔵チューブ・
プリアンプ回路

NOTE: 6-PIN DIN INPUTジャックへの入力信号
は、上記のプリアンプ回路を通らずにパワー
アンプ回路へ直接入力されます。



接続が完了したら、以下の手順で電源を入れてください。手順
を間違えると、誤動作をしたりスピーカー等の破損を生じるこ
とがあります。

Steps:

- ① 本機の[VOLUME]ツマミを最小にします。
- ② 接続した楽器の電源を入れます。
- ③ 本機の[POWER]スイッチをON(122 TYPE)または
ON(147 TYPE)にします。

・本機の電源が入り、ローターが自動的に回転を始めます。

・6秒後にレスリースイッチ/フットスイッチの設定に応じた回転
状態に変わります。

NOTE: アンプキャラクターを切り替える際は、切り替え時の異音を防ぐため、一
旦スイッチをOFFにして数秒間待ってからもう一方のポジションに切り
替えてください。

- ④ 楽器の音量を最大にします。
- ⑤ 楽器の音を出しながら、本機の[VOLUME]ツマミを調節し
ます。

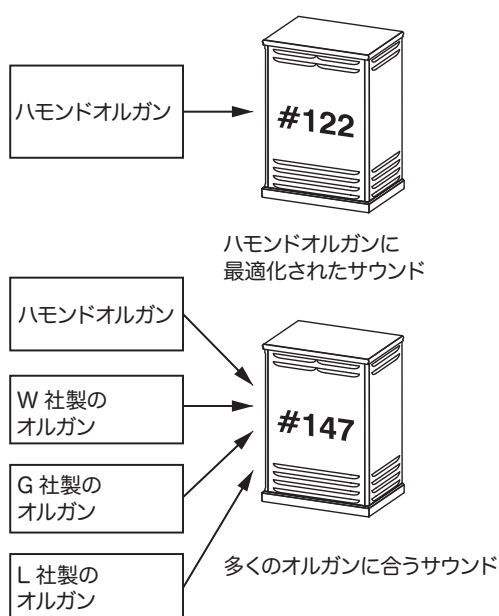
NOTE: 本機は真空管回路を使用しているため、真空管が温まって本機から音が
出るまで10~20秒ほどかかります。

⚠ 注意

[VOLUME]ツマミは本機の音が歪まないように適度な量に調節
してください。スピーカーへの過度な入力は本機の重大な故障の原因
となり、保証の対象外となります。

- ⑥ 楽器のレスリースイッチや本機に接続したフットスイッチを
操作して、SLOW、FAST、STOPの切替が正常に行えるかを
確認します。

Column:122 タイプと 147 タイプのサウンドの違い



オリジナルのレスリー122と147には同じ形状のキャビネット
が使われていますが、この2つのモデルはそれぞれ違う用途
に向けて設計されており、内部の電気回路にも違いが有ります。
122はもともと、サウンドを鳴らすために外部のトーンキャ
ビネットが必要なハモンドオルガン(B-3、C-3、RT-3等)専用
に設計されました。一方147は、コンソール内部に発音回路を
持ったシングルチャンネルのオルガン(A-100や他のメーカー
のオルガン)用に設計されたもので、ロータースピードの切り
替えに関する入力回路が122と異なります(p.11下部の
Columnを参照)。

122と147のキャビネットには共に40Wの真空管アンプが使
われていますが、147は高音のロールオフ周波数が高いため、
122よりも少し明るめのサウンドになっています。

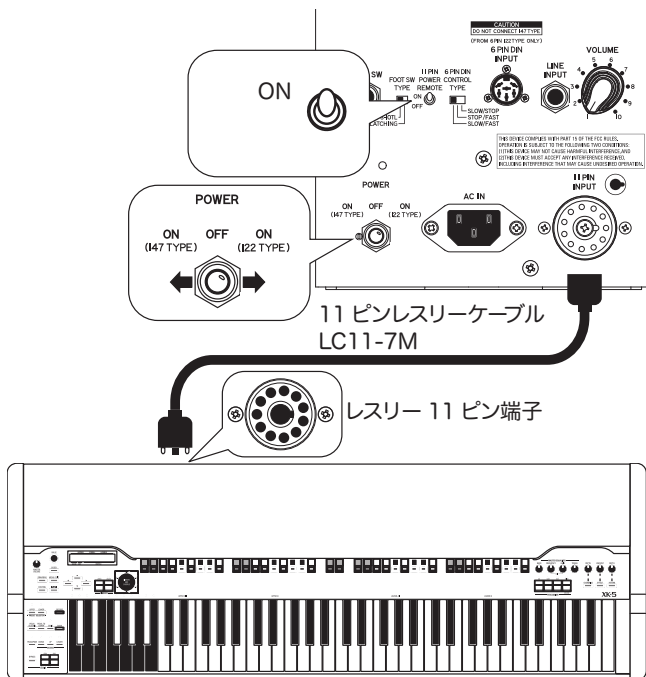
tips レスリー122/147と142/145

オリジナルのレスリー122と147はどちらもキャ
ビネットの高さが41インチのモデルでした。

これらを特殊な用途に向けて、少し小さい高さ
33インチのキャビネットに収めたモデル(142と
145)も製造されました。

レスリー142は122の、レスリー145は147の小
さいバージョンです。

● 11-PIN POWER REMOTE 機能（レスリー 11-PIN 端子を持つオルガン限定）



レスリー11ピン端子搭載のオルガンを接続している場合、接続した楽器の電源スイッチ操作によって、本機の電源をONにすることもできます(11-PIN POWER REMOTE機能)。

NOTE: この機能はレスリー11ピン端子を搭載しない機器では使用できません。

Steps:

- ① 本機とオルガンの電源がOFFになっていることを確認します。
- ② 本機とオルガンを11ピンレスリーケーブルLC11-7M(別売)で接続します。
- ③ [11-PIN POWER REMOTE]スイッチをONにします。
- ④ 本機の[POWER]スイッチをON(122 TYPE)またはON(147 TYPE)にします。

・パワー・インジケータLEDが暗めに点灯し、本機の電源がスタンバイモードになったことを示します。

- ⑤ 接続したオルガンの電源を入れます。

・本機とオルガン両方の電源がONになり、本機のパワー・インジケータLEDが明るく点灯します。

NOTE: オルガンの電源を切ると、本機の電源はスタンバイモードに戻り、パワー・インジケータLEDが暗めに点灯します。

アフターサービスについて

この商品には保証書を下記添付しております。所定の事項の記入後、記載内容をご確認の上大切に保管してください。

保証期間はご購入日より1年間です。保証書の記載内容によりご購入販売店が修理いたします。その他、詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が切れましても、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

アフターサービスについてご不明の場合は、ご購入の販売店またはもよりの営業所にお問い合わせください。

製造元 **株式会社 鈴木楽器製作所**
〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 ☎ (053) 461-2325

販売元 **鈴木楽器販売株式会社**
本 社 〒430-0815 静岡県浜松市中央区都盛町157-1 ☎ (053) 477-8800

事務所移転等のため、住所・電話番号が変わる場合がございます。
最新の情報に関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

www.suzuki-music.co.jp

お問い合わせは下記まで

www.suzuki-music.co.jp/contact/



お問い合わせフォーム